■令和４年度 事業の総括

当法人の事業運営につきまして、日頃よりご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、コロナ禍における混乱の様相も一定の落ち着きがみられるようになり、理事及び会員の皆様におかれましても事業の再興にご尽力されるなど、日常生活を取り戻しつつある方も増加しているかと、期待の念を抱いております。

このような中、当法人も地域のために貢献する立場であり、ますます重要な責務の担い手として期待されているのは確かです。

昨年度の事業をふりかえり、地域の活性化を最大の使命と考えて活動して参りたいと存じます。

各事業においても、コロナ禍の影響を多大に受けつつも、できる限りの活動を行いました。
詳しくは事業報告書ならびに活動計算をご参照いただけますと幸いです。

特定非営利活動法人
いいざかサポーターズクラブ
代表理事　　藤原　純

■令和４年度　組織運営に関して

□会員に関する事項

（1）会　員　数	＊正会員　　29 名
（2）会員へのサービス	①　イベント等の案内（郵送） ②　会員交流会　　・7/22にoncafé前にてBBQを実施　　参加者：10名 ③　会報誌発行　　未実施

□運営に関する事項

1．総会

日　時	令和　4 年　5 月　25 日　　17 ： 30 ～ 18 ： 30
場　所	飯坂町商工会館　2階会議室　（福島市飯坂町字筑前１２－１）
出　席	正会員：２５名（内、委任状１７名）

2．理事会

日　時	令和　4 年　4 月　22 日　15 ： 30 ～ 17 ： 00
場　所	いいざかサポーターズクラブ事務所（福島市飯坂町字湯沢26）
出　席	４名
議　題	①事業復活支援金の申請について ②令和３年度の事業報告について ③総会議案について ④令和4年度事業計画について
日　時	令和　4 年　5 月　18 日　15 ： 30 ～ 17 ： 00
場　所	リモート
出　席	５名（内リモート5名）
議　題	①第13回通常総会資料の内容確認について ②第13回通常総会における役員の役割分担について
日　時	令和　4 年　6 月　29 日　18 ： 30 ～ 20 ： 30
場　所	いいざかサポーターズクラブ事務所（福島市飯坂町字湯沢26）
出　席	６名（内リモート1名）
議　題	①代表理事の選任について ②事務局運営について ③各事業運営担当について ④各事業について
日　時	令和　4 年　7 月　20 日　18 ： 30 ～ 19 ： 30
場　所	いいざかサポーターズクラブ事務所（福島市飯坂町字湯沢26）
出　席	５名（内リモート1名）
議　題	①夏季繁忙期の事業内容について ②地域おこし協力隊の活動状況について ③財務状況について

３．組織基盤の整備

（１）広報活動

①展示会・イベント等への参加・出店

※新型コロナウイルス感染拡大のため未実施

②メディアへの掲載

日　　時	内　　容	掲　載　先　等
令和 4 年 5 月 20 日	リノベーションカフェ＆レストラン特集に掲載	福島リビング新聞社
令和 4 年 6 月 3 日	提携先の旅館・ホテルとカヤック体験会	福島民友新聞社
令和 4 年 6 月 29 日	ふくしま食べて応援キャンペーン特集	福島民友新聞社
令和 4 年 8 月 2 日	大自然に囲まれて思いっきり体を動かせる 東日本の4スポット	地方活性アスキー.JP
令和 4 年 11 月 27 日	インフラツーリズム実施について	福島民友新聞社
令和 4 年 12 月 2 日	万世大路と二ツ小屋隧道について	るるぶ　福島会津
令和 4 年 12 月 15 日	万世大路と二ツ小屋隧道について	山と渓谷社
令和 5 年 1 月 27 日	万世大路と二ツ小屋隧道について	福島民報社
令和 5 年 2 月 11 日	万世大路と二ツ小屋隧道について	福島中央テレビ
令和 5 年 2 月 12 日 19 日	万世大路と二ツ小屋隧道（特集：記者が挑戦①） 同、その②	福島民友新聞社
令和 5 年 2 月 14 日	万世大路と二ツ小屋隧道について	福島テレビ
令和 5 年 2 月 24 日	万世大路と二ツ小屋隧道について	NHK福島放送局

③インターネットでの情報発信（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

ホームページ閲覧者数 （ページビュー数）	１００，２７２件　　(令和３年度　５５，９０１件) ※主にカヤックやダムについての情報掲載により増加

（２）研修やセミナーへの参加

日　　時	内　　容	主催団体等	参加者
令和 4 年 4 月 16 日	事業復活支援金説明会	認定特定非営利活動法人 市民公益活動パートナーズ	理事1名
令和 4 年 4 月 27 日	新会計ソフトMA1説明会	飯坂町商工会	理事1名
令和 4 年 5 月 31 日 6 月 1 日	カヤック研修	ナチュラルビズ	理事1名 地域おこし 協力隊員
令和 4 年 6 月 7 日	地域おこし協力隊・復興支援員 新規着任者オリエンテーション	一般社団法人ふくしま 連携復興センター	理事2名
令和 4 年 6 月 12 日	オンライン交流会	日本冒険遊び場づくり協会	理事1名
令和 4 年 6 月 20 日	定期総会	子どもが自然と遊ぶ楽校ネット	理事1名

令和 4 年 6 月 23 日	定期総会	飯坂温泉観光協会	理事1名
令和 4 年 6 月 25 日	赤十字救急員養成講習	日本赤十字社福島支部	理事1名
令和 4 年 7 月 6 日 12 日 22 日	観光振興セミナー2022	じゃらんリサーチセンター	理事1名
令和 4 年 9 月 2 日	地域おこし協力隊等 市町村担当者研修	一般社団法人ふくしま 連携復興センター	理事1名
令和 4 年 10 月 25 日	地域おこし協力隊交流セミナー @飯坂町	一般社団法人ふくしま つむぐるカンパニー	理事2名 地域おこし 協力隊員
令和 4 年 11 月 8 日	地域おこし協力隊 交流サロン霊山登山	一般社団法人ふくしま つむぐるカンパニー	理事2名 地域おこし 協力隊員
令和 4 年 11 月 29 日	霊山と飯坂の連携を考える懇談会	特定非営利活動法人 りょうぜん里山がっこう	理事4名 地域おこし 協力隊員
令和 4 年 12 月 1 日 8 日	インボイス勉強会	飯坂町商工会	理事1名
令和 4 年 12 月 2 日	地域おこし協力隊　三者面談	福島市役所地域共創課 特定非営利活動法人いいざか サポーターズクラブ	理事2名 地域おこし 協力隊員
令和 4 年 12 月 20 日	福島北高等学校 総合学科研究発表会	福島県立福島北高等学校	理事2名
令和 5 年 1 月 13 日	インボイス制度を巡る勉強会	認定特定非営利活動法人 市民公益活動パートナーズ	理事1名
令和 5 年 1 月 17 日	インボイス対応の進め方解説	富士フイルムビジネスイノ ベーションジャパン株式会社	理事1名
令和 5 年 2 月 3 日	ふくしまインフラツーリズム 推進会議	福島県土木部	理事1名
令和 5 年 2 月 14 日	阿武隈川圏域河川協力団体 意見交換会	福島河川国道事務所	理事2名
令和 5 年 3 月 14 日	福島県教育旅行セミナー	公益財団法人 福島県観光物産交流協会	理事2名
令和 5 年 3 月 21 日	定期総会	湯沢商店会	理事1名

４．職員及びボランティア

（１）事業別人員体制　　令和4年3月31日現在

事業名	理事及び会員、職員	臨時スタッフ・ボランティア
法人事務局	常勤理事１名　　非常勤理事２名 パート職員1名 業務に応じて理事及び会員が従事	0 名
冒険あそび場事業	常勤理事１名　　非常勤理事1名 業務に応じて理事及び会員が従事	18 名
飯坂茂庭活性化 プロジェクト	常勤理事１名　　非常勤理事1名 地域おこし協力隊員1名 業務に応じて理事及び会員が従事	13 名
オンカフェ事業	非常勤理事１名　　職員１名 地域おこし協力隊員1名 パート職員5名	0 名

（２）福島市 地域おこし協力隊の受入

名　称	地域おこし協力隊
委託元	福島市　政策調整部地域共創課、市民・文化スポーツ部定住交流課
募集期間	令和　４　年　４　月　１　日　～　令和　５ 年　３ 月　31 日
内　容	「地域おこし協力隊」とは、人口減少や高齢化等が著しい地方で、主に都市部より地域外の人材を積極的に受け入れ、地域の産業や農業等に従事しながら課題に向き合い、地域活動を通して活性化に取り組む人材の移住・定住を図るとともに、地域力の維持・強化を目的とした制度です。 いいざかサポーターズクラブでは、埼玉県より移住し福島市に着任した協力隊員1名を受け入れ、法人事業に携わっていただきながら、将来の定住に向けて隊員をサポートしています。

■活動に関する事項

＜非営利活動に係る事業＞

１．　まちづくりに関する、情報発信･収集･企画･運営･案内人（ガイド）による交流を促進させる事業

①冒険あそび場運営事業【受託事業】

趣旨 目的	子どもが自由に責任を持って遊ぶことをモットーとした遊び場「プレイパーク」において、子ども自身が「やってみたい、楽しい」と感じる遊びのなかで心身の発育を促す機会をつくる				
内　容	飯坂町内の公園や河川敷、県内の児童センターやイベント会場等で、木製手作りの遊び道具（プレイキット）を積載した車両（プレイカー）を用いて、遊び道具の提供と子どもの外遊びの安全管理と見守りを行った				
実施期間	令和　４年　４月　１日　～　令和　５年　３月　31 日				
エリア		会場	参加者数	開催回数	備　考
飯坂町内		公園、学童施設、寺院等	509名	15回	
飯坂町以外の福島市内		児童センター、道の駅	114名	3回	
郡山市		郡山カルチャーパーク	70名	1回	
相馬市		児童センター、小学校	535名	9回	
		参加合計者数・回数	1,228名	28回	
収益元	福島県子どもの冒険ひろば設置運営業務委託（子どもが自然と遊ぶ楽校ネット）				

②子どもの支援活動発展事業【新規】

趣旨 目的	子どもの外遊び支援活動の発展形として、自主開催に向けた事業作りと他団体との協働をはかる		
内容	①福島市や周辺地域在住の児童を対象に、1泊2日のキャンプ体験 →未実施 ②福島市や周辺地域イベントとのコラボ　→冒険あそび場開催回数の内2回 ※不動寺こども食堂開催時に境内で遊び場を実施		
実施期間	令和　４年　11 月　～　令和　５年　３月	開催回数	２ 回
収益元	福島県子どもの冒険ひろば設置運営業務委託（子どもが自然と遊ぶ楽校ネット）		

③地域資源を活用した交流まちづくり事業【新規】

（1）空き家・空き店舗対策事業	
趣 旨 目 的	飯坂町内に点在する空き家・空き店舗を活用した新規出店事業や交流拠点の整備を促進し、交流人口の拡大による地域の活性化をはかる。
実施期間	令和　4 年　6 月 ～　令和　5 年　3 月
場　所	飯坂町内
内　容	地域おこし協力隊員と飯坂町内の空き家・空き店舗活用に向けた事業計画づくり。
収益元	無

（2）摺上川活用保全事業	
趣 旨 目 的	摺上川の景観保全と新たな活用を見出し交流人口の拡大や地域の活性化をはかる。
実施期間	令和　4 年　6 月 ～　令和　5 年　3 月
場　所	飯坂町内
内　容	十綱橋周辺のゴミ拾いによる景観整備に取り組みの他、摺上川活用に向けた関連機関・団体等とのネットワーク化をはかる。令和4年度では助成金の申請ならびに関係機関との調整を行い、令和5年度に活動予定。
収益元	福島銀行ふるさと自然環境基金

④ぷらっとふぉーむ飯坂の運営【受託事業】

実施期間	令和　4 年　4 月 ～　令和　5 年　3 月			利用者数 延べ約	39 名
場　所	飯坂町	会　場	旧加藤別荘	利用回数	5 回
内　容	福島市飯坂温泉のラヂウム玉子製造源泉にある加藤別荘を改装した交流拠点 「ぷらっとふぉーむ飯坂」より、利用受付や施設の開錠・施錠、利用料の徴収を受託 （利用会員登録料、施設使用料の半額が委託料）				
委託元	ぷらっとふぉーむ飯坂（代表 南雲 利明）				

2．　着地型観光のプログラム造成及び地域づくりを促進させる事業

飯坂茂庭活性化プロジェクト

（1）自主事業

趣 旨 目 的	福島市飯坂町及び茂庭地区の自然や施設、文化を活用した事業（活動）を 行うことにより、地域の交流人口の増加を図る				
活動名	茂庭っ湖カヤックツアー			参加者数	450 名
実施期間	令和　4 年　4 月 ～　令和　5 年　11 月			開催回数	86 回
場　所	飯坂町茂庭	会　場	摺上川ダム　梨平公園		
内　容	摺上川ダム（通称：茂庭っ湖）でのカヤックツアー開催、観光事業者や 行政観光担当者を対象とした体験会の開催				
収　益	参加料				

活動名	インフラツーリズム			参加者数	26 名
実施日	令和　4 年　8 月　28 日　・　11 月　26 日			開催回数	2 回
場　所	飯坂町茂庭	会　場	国道３９９号線(飯坂町茂庭 摺上川ダム周辺)		
内　容	福島県が実施するインフラツーリズム実証事業において、カヤックとダム見学を実施				
収　益	参加料				
活動名	第6回 茂庭っ湖ラインタイムトライアルレース			参加者数	0 名
実施日	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			開催回数	0 回
場　所	飯坂町茂庭	会　場	国道３９９号線(飯坂町茂庭 摺上川ダム周辺)		
内　容	摺上川ダム沿いの国道３９９号線にて往復11ｋｍの自転車タイムレース				
収　益	参加料				
活動名	江戸時代建築の老舗旅館で上生菓子作り			参加者数	5 名
実施日	令和　4 年　9 月　10 日			開催回数	1 回
場　所	飯坂町	会 場	ぷらっとふぉーむ飯坂	講　師	一味庵
内　容	新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、会場を「ぷらっとふぉーむ飯坂」に変更し、町内の和菓子屋職人を講師に上生菓子作り（練り切り）体験会を開催				
収　益	参加料				
活動名	里山と水路を巡るサイクリング			参加者数	13 名
実施期間	令和　4 年　5 月　3 日　・　10 月　23 日			開催回数	2 回
場　所	飯坂町	会　場	西根堰周辺		
内　容	飯坂町内の史跡や果樹園、西根堰をマウンテンバイクで巡るガイドツアー				
収　益	参加料				
活動名	万世大路スノーシュー			参加者数	103 名
実施期間	令和　5 年　1 月　～　令和　5 年　2 月			開催回数	25 回
場　所	飯坂町中野	会　場	国道13号線 東栗子トンネル付近		
内　容	国道13号線の旧街道のトンネル跡地の内部に冬季期間にできた氷柱をスノーシューを履いて歩いて見に行くトレッキング・ツアー				
収　益	参加料				
活動名	道の駅ふくしま発着　万世大路スノーシューツアー			参加者数	60 名
実施期間	令和　5 年　2 月　11 日　・　19 日			開催回数	3 回
場　所	飯坂町中野	会　場	国道13号線 東栗子トンネル付近		
内　容	道の駅発着のバスツアーとして実施する万世大路スノーシューにおいてガイドを受託				
収　益	福島市フルーツラインエリア観光推進協議会委託料				

事業名 (★新規)	モニカツ（茂庭活性化プロジェクト）		
趣　旨 目　的	飯坂町茂庭地区の自然や文化を活用した交流人口の拡大や地域活性化をはかる 事業を立ち上げる		
実施期間	令和　4 年　6 月 ～　令和　5 年　3 月	参加者数	35 名
場　所	飯坂町茂庭、oncafé茂庭店	開催回数	4 回
内　容	oncafé茂庭店の再整備やキャンプ用品レンタル、キャンプ・BBQセミナー等 →キャンプ用品レンタル2回、キャンプ体験会2回実施		
収益元	参加料		

3．　まちづくりに関する、講演会・講習会・調査・研究・提言事業

（1）講師及び委員等の派遣

活動名	飯坂地域まちづくり計画推進懇談会			
実施期間	令和　3 年　4 月 ～　令和　4 年　3 月		開催回数	5 回
応対者	0名	会　場	飯坂支所　会議室	
内　容	福島市総合計画後期基本計画を基調とした飯坂まちづくり懇談会への参加			
活動名	飯坂温泉観光協会　理事会及び各委員会			
実施期間	令和　3 年　4 月 ～　令和　4 年　3 月		開催回数	9 回
応対者	2名	会　場	飯坂温泉観光協会事務所、吉川屋	
内　容	理事会、インターネット委員会に参加し事業運営に協力			
活動名	万世大路に関する情報交換会			
実施日	令和　4 年　11 月　12 日 ・ 21 日 ・ 28 日		開催回数	3 回
応対者	2名	会　場	福島市飯坂支所等	
内　容	河川国道事務所、福島市役所、 福島市フルーツラインエリア観光推進協議会、 二ツ小屋隧道保存会と万世大路の活用に向けた情報交換会			
活動名	花ももの里運営委員会			
実施日	令和　4 年　2 月　27 日		開催回数	1 回
応対者	1名	会　場	パルセいいざか	
内　容	花ももの里の運営に関する委員会			

４．　地域の歴史、伝統、文化、芸能、芸術、スポーツ等、及び地域の名物の保存、育成を図り
地域活性化のためのイベント、お祭りの企画運営事業

（１）飯坂茂庭活性化プロジェクト

①受託事業

活動名	花ももの里管理運営業務			参加者数	10078 名
期　間	令和　　４ 年　４ 月　２ 日 ～　令和　４　年　４　月 24 日　　※1週間延長				
場　所	飯坂町	会　場	花ももの里		
内　容	花ももの里の管理運営、案内、協力金徴収				
委託元	飯坂温泉観光協会				
活動名	協同組合飯坂スタンプ会事務局				
実施日	令和　４ 年　４ 月　１ 日 ～　令和　５　年　３　月 31 日				
場　所	飯坂町				
内　容	飯坂町内の商店で利用できる共通スタンプや商品券の発行事業を行う事務局を受託				
委託元	協同組合飯坂スタンプ会				
活動名	水源地の歴史と文化を知る上映会「奥茂庭」上映会と民話講演			参加者数	43 名
実施日	令和　４　年 12 月 26 日　※午前・午後の2回実施			開催回数	2 回
場　所	福島市	会　場	福島市アクティブシニアセンター　アオウゼ		
内　容	摺上川ダム建設以前に制作され、飯坂町茂庭の歴史と文化を記録した映像作品の上映会と、茂庭に伝わる民話「大蛇伝説」「かっぽれぼたもち」の講演				
委託元	国土交通省東北地方整備局　摺上川ダム管理所				
活動名	水源地の歴史と文化を知る茂庭っ湖探訪ウォーキング			出展者数	50 名
実施日	令和　５　年　３　月 12 日			開催回数	1 回
場　所	飯坂町	会　場	摺上川ダム、もにわの湯周辺		
内　容	茂庭地区内の史跡ならびにダム見学を含むフィールドワーク オンカフェ茂庭店で昼食、しなだ織（茂庭地区に伝わる古代織）の展示				
委託元	国土交通省東北地方整備局　摺上川ダム管理所				

②実行委員会・協力事業

活動名	森づくり大作戦				
実施日	令和　　４ 年　10 月　23 日			参加者数	96 名
場　所	飯坂町茂庭	会　場	摺上川ダム		
内　容	摺上川ダム管理所が実施する、ダム下流エリアの植樹イベント実施協力				
主催	摺上川ダム管理所				

５．地域の特産品の普及拡大を図る為に、地域の生産者と事業連携を図り、地域の特産品を開発・宣伝し地域の活性化を図る事業

<table>
<tr><td>事業名
(★新規)</td><td colspan="5">地域交流拠点の再整備と活用促進事業</td></tr>
<tr><td>趣 旨
目 的</td><td colspan="5">oncaféの再整備や新たな取り組みを通して、交流創出を促進し、地域活性化をはかる。</td></tr>
<tr><td>場 所</td><td colspan="5">oncafé飯坂本店、oncafé茂庭店</td></tr>
<tr><td rowspan="8">内 容</td><td rowspan="2">①oncafé飯坂本店前にドッグ用スペース設置</td><td>実施期間</td><td colspan="3">夏季期間</td></tr>
<tr><td>実施場所</td><td colspan="3">oncafé飯坂本店</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②地域産品を活用した新商品の開発</td><td>実施期間</td><td>通年</td><td rowspan="2">開発品数</td><td rowspan="2">約20 品</td></tr>
<tr><td>実施場所</td><td>oncafé飯坂本店</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③店前外売りや朝カフェの営業</td><td>実施期間</td><td colspan="3">夏季期間</td></tr>
<tr><td>実施場所</td><td colspan="3">oncafé飯坂本店</td></tr>
<tr><td rowspan="2">④まち歩きプログラム試行</td><td>実施日</td><td colspan="3">令和4年9月17日・10月16日</td></tr>
<tr><td>実施場所</td><td>飯坂町内</td><td>参加者数</td><td>8 名</td></tr>
<tr><td>収益元</td><td colspan="5">受益者負担</td></tr>
</table>

６．その他、第３条の目的をみたすために必要な事業

<table>
<tr><td>事業名</td><td>福島市地域おこし協力隊員１名受入と育成</td></tr>
<tr><td>趣 旨
目 的</td><td>福島市飯坂町の移住・定住促進に向け、地域おこし協力隊の受入れと育成</td></tr>
<tr><td>実施期間</td><td>令和 ４ 年 ４ 月 ～ 令和 ５ 年 ３ 月 ※最長令和7年3月</td></tr>
<tr><td>場 所</td><td>各事業の活動エリア</td></tr>
<tr><td>内 容</td><td>①協力隊員の定住による移住・定住モデルとなる協力・支援
②先進地域への視察研修
③県内受入団体合同研修会への参加</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td>インターン受入事業</td></tr>
<tr><td>趣 旨
目 的</td><td>各事業の円滑な運営のため人材の育成をはかる</td></tr>
<tr><td>実施期間</td><td>令和 ４ 年 ７ 月 ～ 令和 ４ 年 ８ 月</td></tr>
<tr><td>場 所</td><td>各事業の活動エリア</td></tr>
<tr><td>内 容</td><td>①自主事業化に向けた各事業ごとの目的・育成プログラムの造成、広報、試行
→冒険あそび場事業にて福島北高校・南高校生ボランティア延べ20名を受け入れました。</td></tr>
</table>

＜その他の事業（収益事業）＞

（１）着地型観光プログラム販売事業

「２．着地型観光のプログラム造成及び地域づくりを促進させる事業」の（１）にあるように、プログラムの試験的な実施に留まりました。

（２）地元住民や観光客の交流を育むコミュニティ空間形成等の事業

活動名	oncafé（オンカフェ）運営事業
実施日	令和　４年　４月　１日　～　令和　５年　３月　31 日
場　所	福島市飯坂町湯沢２６番地　鯖湖湯前
内　容	茂庭っ湖ダムカレー等、地域資源をＰＲする飲食メニューの提供
収　益	販売収益

◇添付資料

１．加盟団体一覧（順不同）

・飯坂温泉観光協会	年会費	30,000円
・飯坂町商工会	年会費	12,000円
・協同組合飯坂スタンプ会	年会費	6,000円
・飯坂町史跡保存会	年会費	2,000円
・湯沢町内会	年会費	3,600円
・湯沢商店会	年会費	12,000円
・飯坂食親会	年会費	12,000円
・福島県飲食業生活衛生同業組合	年会費	12,000円
・全国まちの駅連絡協議会	年会費	20,000円
・（一社）福島市観光コンベンション協会	年会費	10,000円
・子どもが自然と遊ぶ楽校ネット	年会費	無
未来の担い手である福島県内在住の子どもたちが自ら考え「生き抜く力」を高めることを目的に、県内で自然体験活動を行っている８団体で構成されたネットワーク組織		
・（特非）福島市レクリエーション協会	年会費	※令和4年度未納
レクリエーションの総合的な普及振興を図り、福島市民の福祉向上と明るく豊かな生活の形成に寄与することを目的として市内16団体で構成されたネットワーク組織		
・（特非）日本冒険遊び場づくり協会	年会費	8,000円
「遊び あふれる まちへ！」の合言葉で、冒険遊び場づくりを通して地域で子どもたちが自由に遊び育つ豊かな社会の実現をめざして全国展開しているネットワーク組織		

◇添付資料

２．広報掲載紙面等

令和4年5月20日 福島リビング新聞

令和4年6月3日 福島民友新聞

令和4年11月27日
福島民友新聞

令和4年12月2日 るるぶ福島会津

令和4年12月15日 山と渓谷

令和5年2月12日 福島民友新聞

令和5年2月12日 福島民友新聞

令和5年2月19日 福島民友新聞

令和5年2月24日 福島リビング新聞